



いのちとくらしをまもる
防災減災

令和3年8月14日
中国地方整備局
広島地方気象台

緊急記者会見の開催について

～令和3年8月14日12時41分の広島県の大雨特別警報について～

本日12時41分に広島県に発表した、大雨特別警報の緊急記者会見を開催します。急な連絡で申し訳ございませんが、ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。

1. 開催日時

令和3年8月14日（土） 14時20分～（30分程度）

2. 場所

広島市中区上八丁堀6-30

広島合同庁舎4号館14階 気象台防災連絡室

※合同庁舎入館時の注意事項

合同庁舎へ入館する際、警備室から身分証明書の提示を求められることがあります。

開催場所及びトイレ等の共用部分以外への立ち入りは禁止です。

3. 会見者

中国地方整備局 河川調査官 庄司 俊介（しょうじ しゅんすけ）

広島地方気象台 台長 中村 浩二（なかむら こうじ）

観測予報管理官 野村 武司（のむら たけし）

4. お願い

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、記者会見に参加される方は、マスク着用のうえ、各機関1名でお願いします（来台時には検温と手のアルコール消毒をさせていただきます）。

【問合せ先】

（河川に関すること）

国土交通省 中国地方整備局 統括防災官室 防災室

統括防災調整官 加田（内線 2119）

防災室長 清水（内線 2151）

電話 082-221-9231（代表）（直通 082-511-6492）

（気象に関すること）

気象庁 広島地方気象台 防災管理官室

電話 082-223-3959（本日限りの対応となります）

広島県広島市に大雨特別警報発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

警戒レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～<警戒レベル4までに必ず避難！>～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

広島県広島市に大雨特別警報発表

- 今後、他の市町村にも特別警報発表の可能性。
- 特別警報の発表を待つことなく、避難情報に直ちに従い身の安全を確保
- 今いる場所の危険度を「キキクル（危険度分布）」で確認

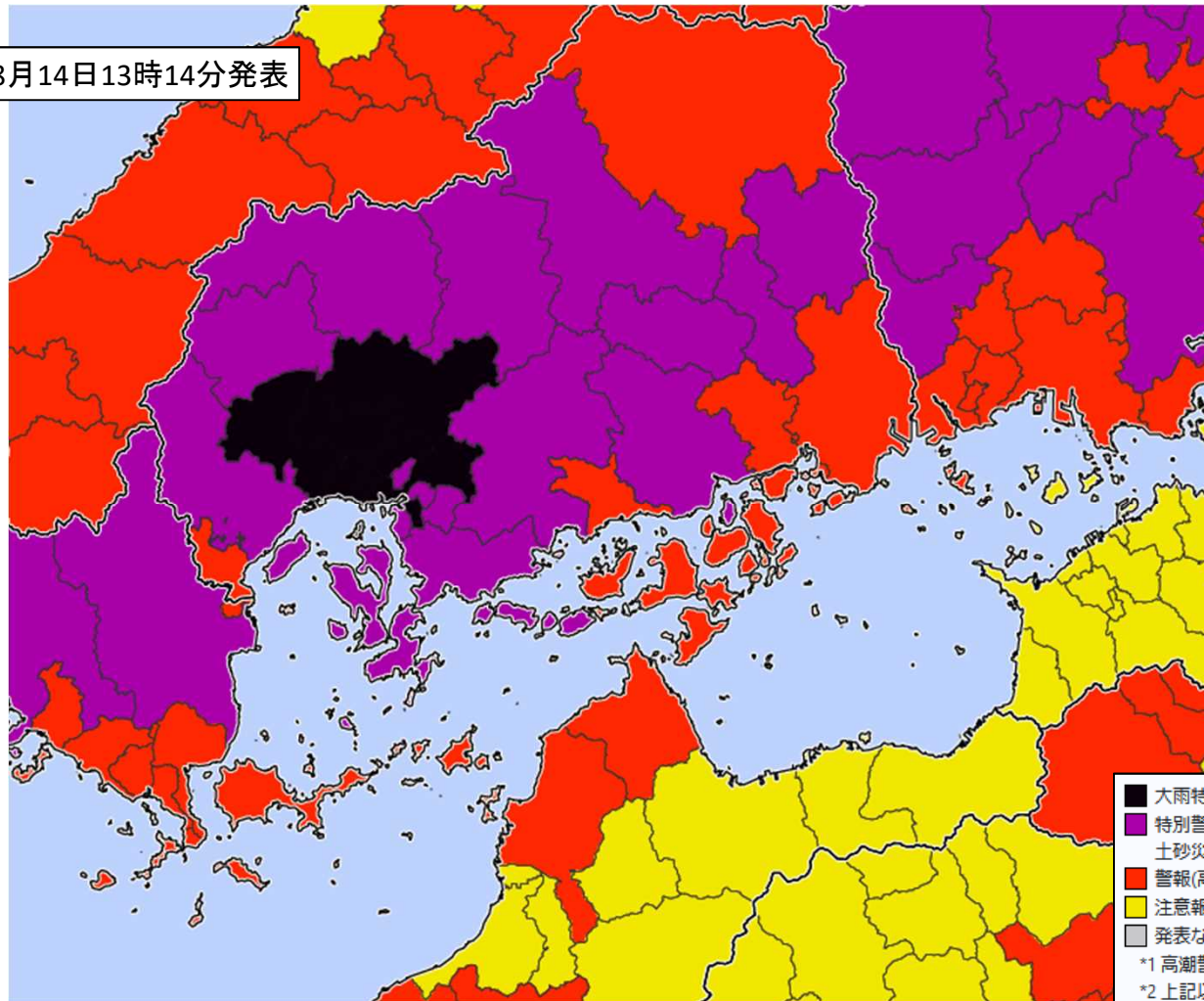
広島県広島市に大雨特別警報発表

- 広島県広島市に大雨特別警報を発表しました。これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- 特に土砂災害警戒区域などでは、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当します。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保しなければならない状況です。また、浸水想定区域などでも嚴重な警戒が必要です。
※指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所に移動するなど、身の安全を確保する必要があります。
- また、普段災害が起きないと思われるような場所でも最大級の警戒が必要です。
- 今後、他の市町にも大雨特別警報を発表する可能性があります。特別警報が発表されてから避難するのでは手遅れとなります。自分の命、大切な人の命を守るため、特別警報の発表を待つことなく、地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従い身の安全を確保してください。
- 気象台等が発表する地域に応じた詳細な情報を確認するとともに、今いる場所の災害発生の危険度を気象庁HP等の「キキクル(危険度分布)」で確認してください。

特別警報・警報の発表状況

8月14日
14時時点の資料

2021年8月14日13時14分発表

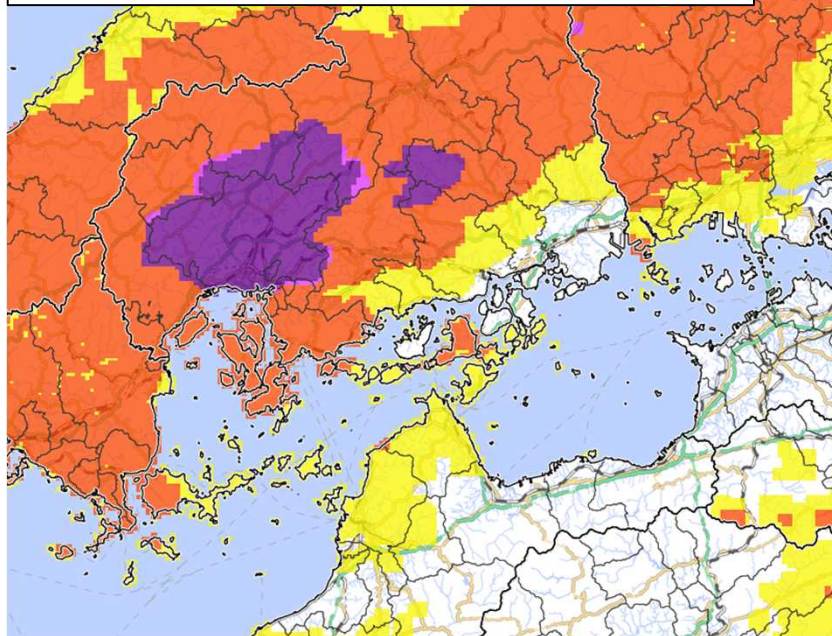


特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

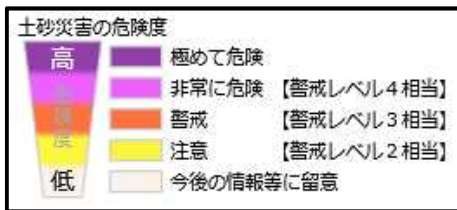
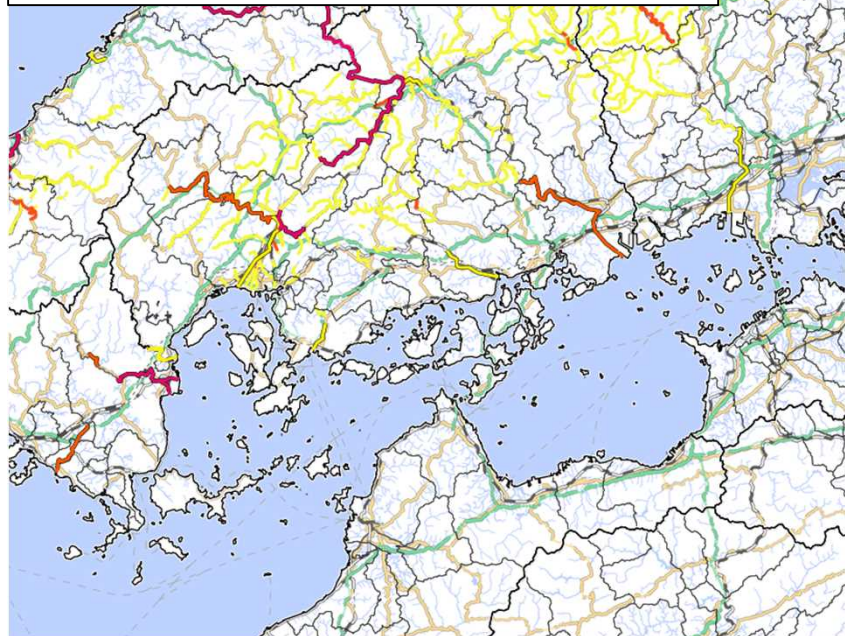
キキクル(危険度分布)

8月14日
14時時点の資料

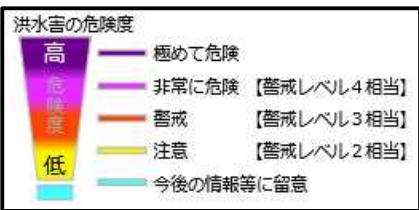
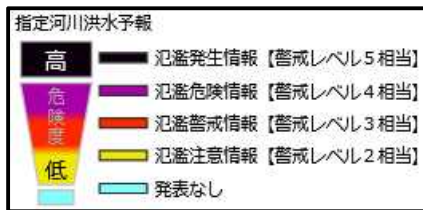
土砂災害 2021年8月14日13時00分



洪水害 2021年8月14日13時00分



地図出典：地理院タイル（加工して利用）等
© Japan Meteorological Agency 2020

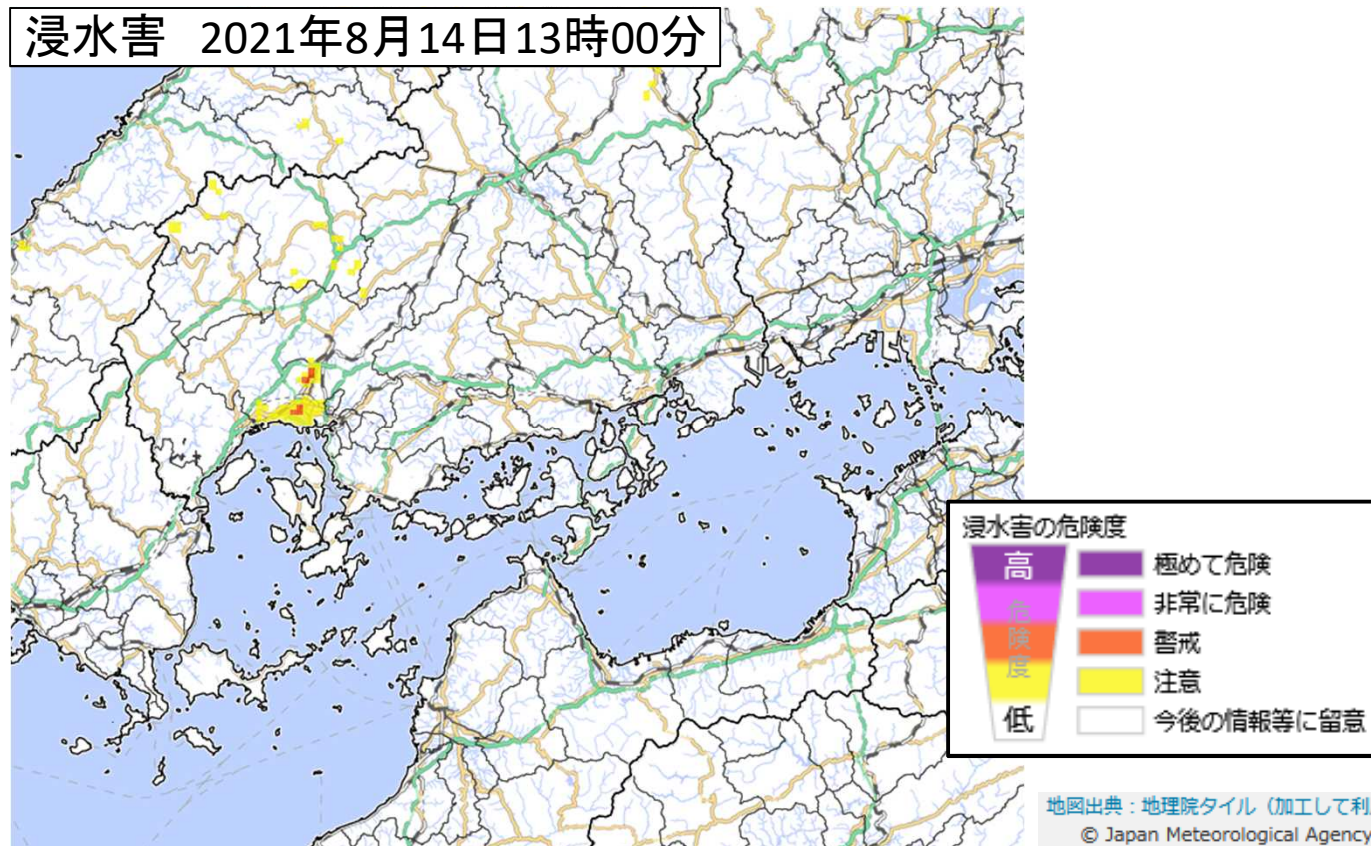


- キキクル（危険度分布）において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、土砂災害や浸水害により、すでに避難が困難となっているおそれがあります。
- 上から2段階目の危険度（うす紫）となっている場所では、災害が切迫し、避難が必要とされる警戒レベル4に相当する状況です。
- これらの場所において、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、直ちに避難の判断をしてください。

キキクル(危険度分布)

8月14日
14時時点の資料

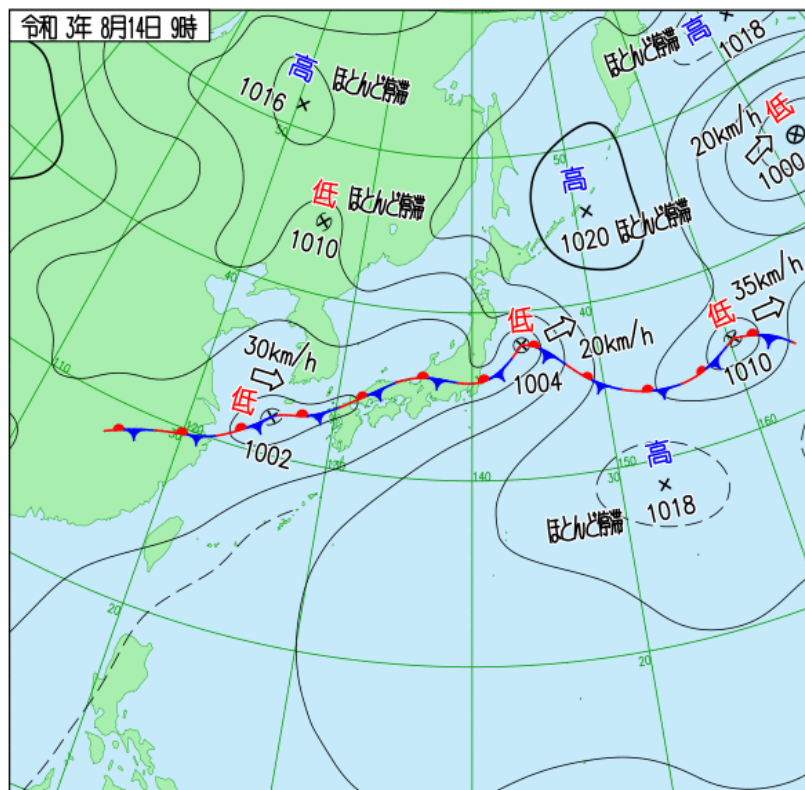
浸水害 2021年8月14日13時00分



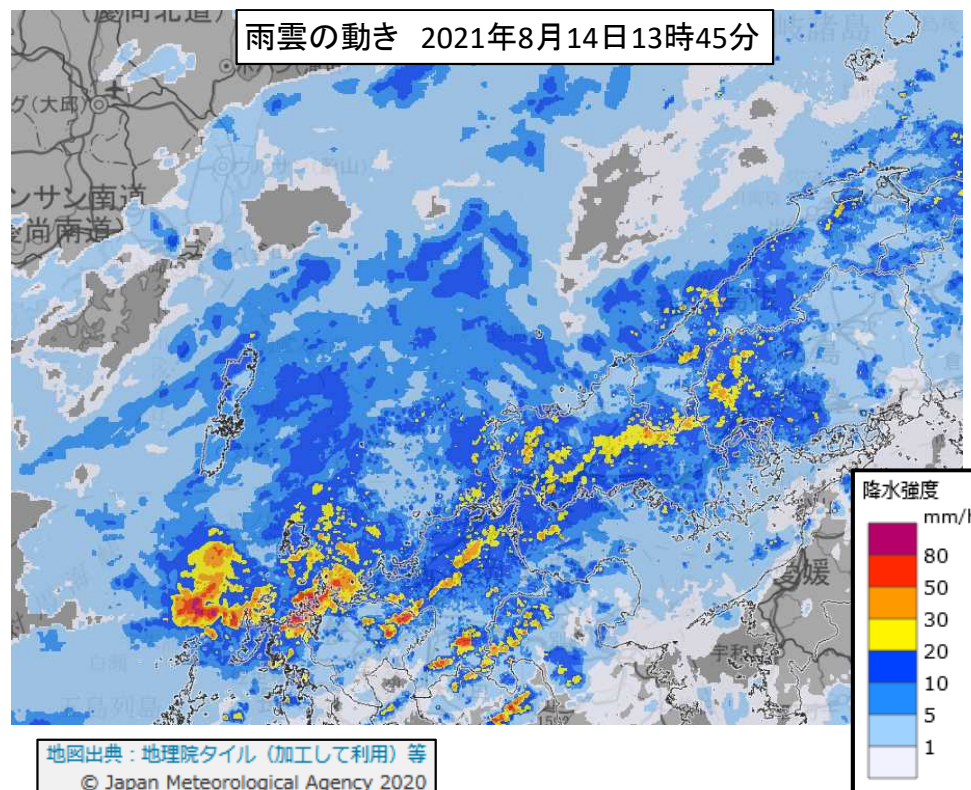
- 浸水キキクル（危険度分布）において、5段階に色分けされたうち、最大の危険度（濃い紫）となっている場所では、道路冠水や家屋浸水がすでに発生している可能性が高い状況です。そうなる前に、各自の判断で浸水が及ばない上の階に移動するなど安全を確保することが重要です。
- 土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、道路冠水等が発生している場所を移動すると、かえって命の危険を伴う場合があります。指定された避難場所に向かうことにこだわらず、避難先を自ら判断することも重要です。

気象実況

8月14日
14時時点の資料



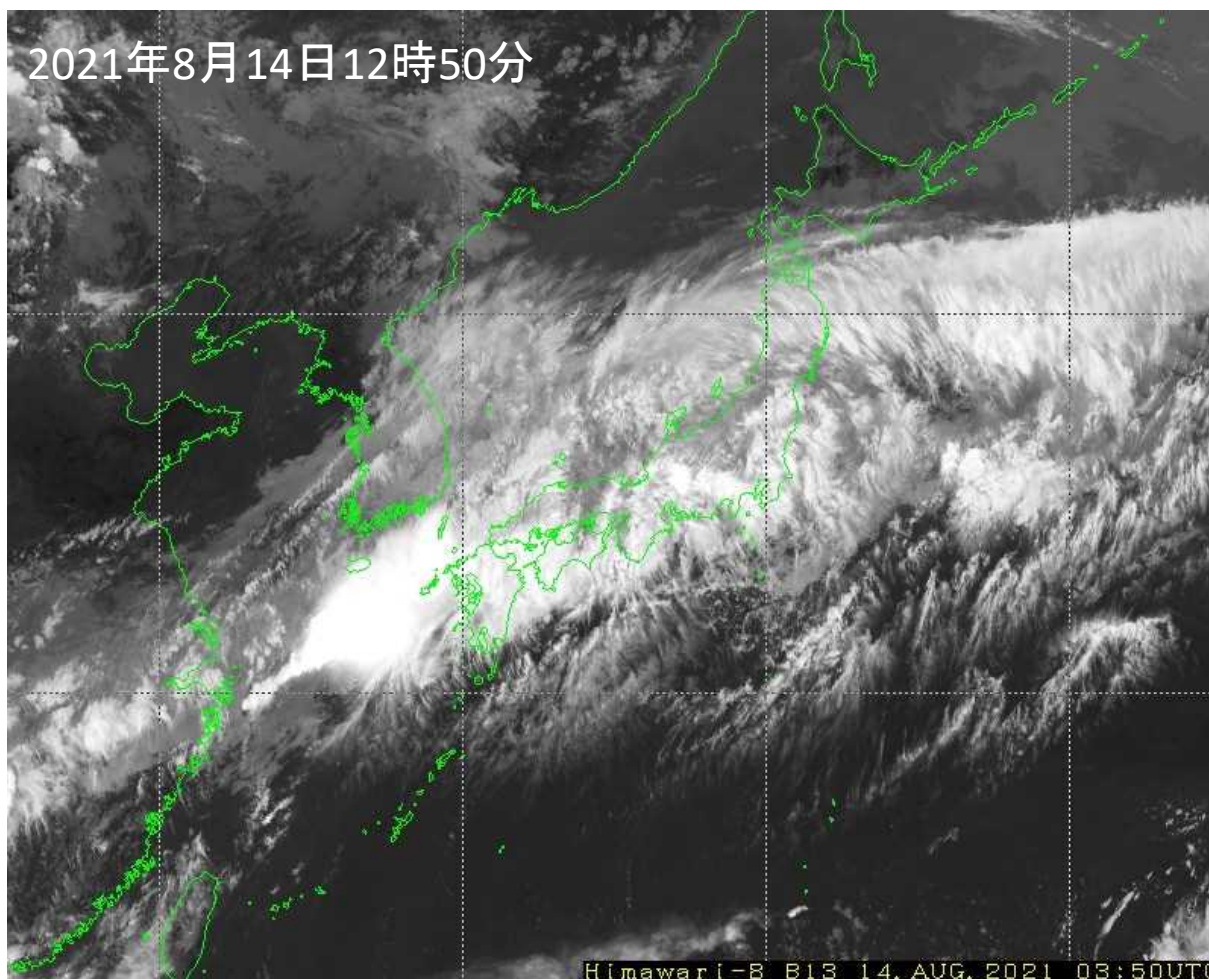
地上天気図



雨雲の様子

気象実況

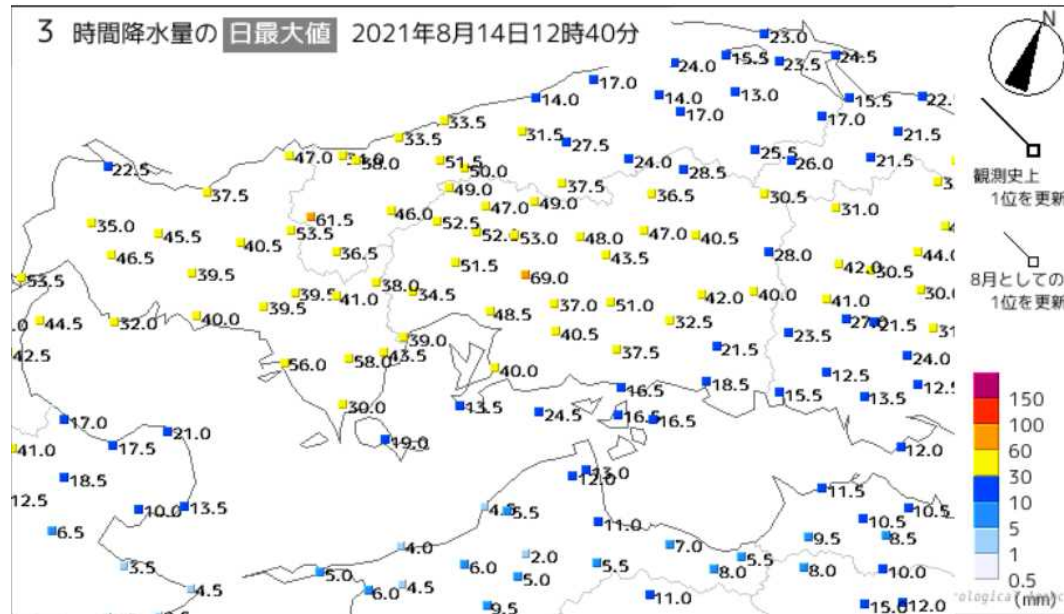
8月14日
14時時点の資料



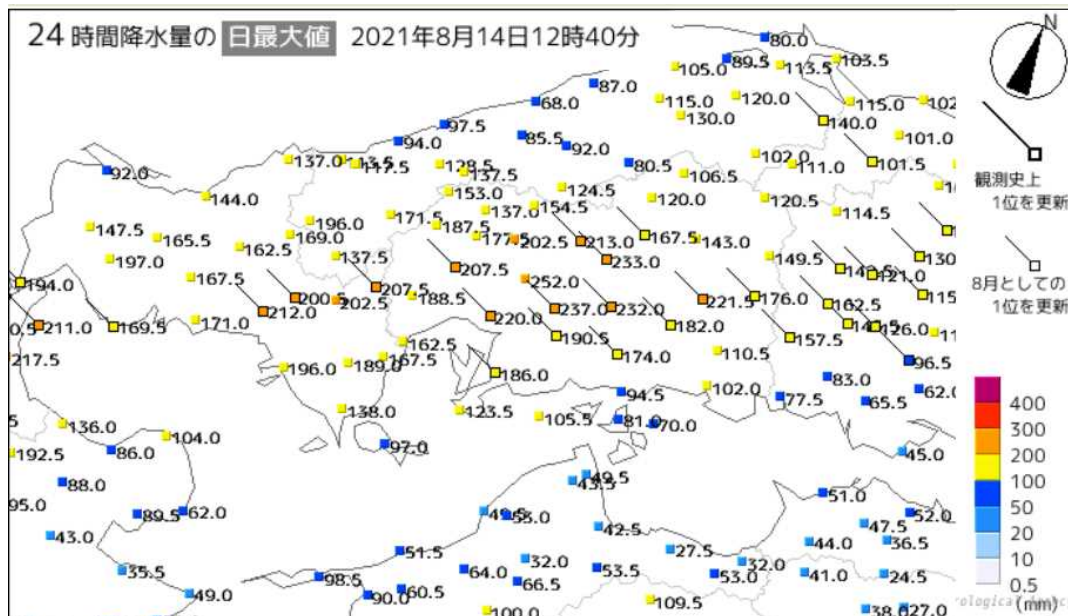
気象衛星(赤外画像)

気象実況(降水量)

8月14日
14時時点の資料



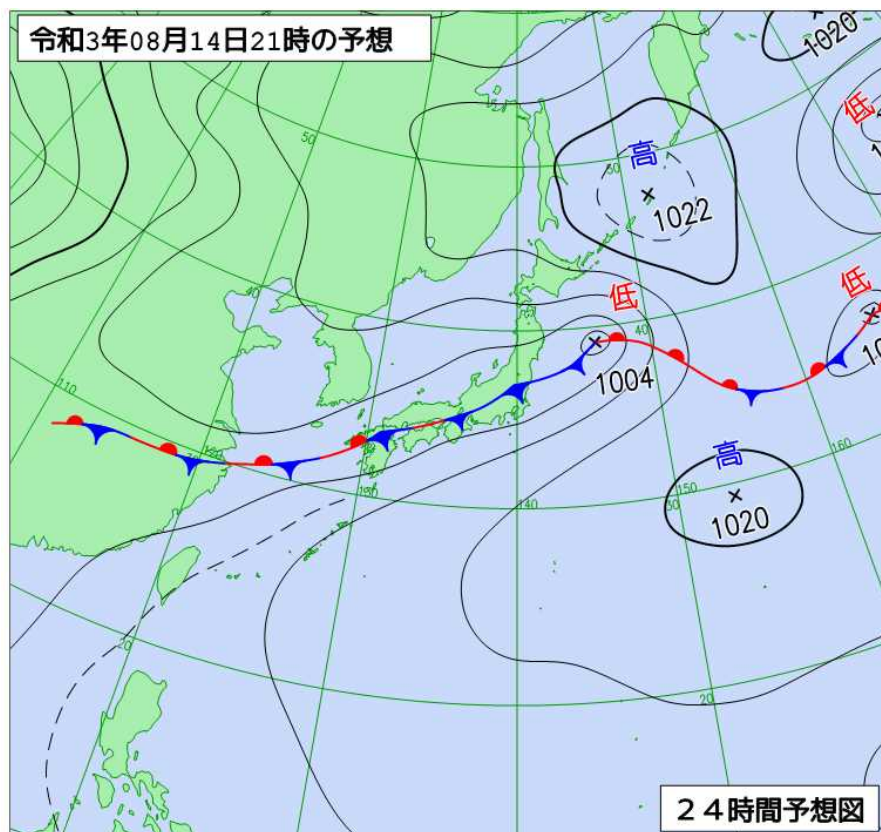
3時間降水量の 日最大値



24時間降水量の 日最大値

今後の見通し

8月14日
14時時点の資料



これまでの雨により広島県では土砂災害や洪水の危険度が高まっています。15日明け方にかけて非常に激しい雨が降り、さらに危険度が高まる見込みです。

14日12時から15日12時までに予想される24時間雨量(多い所)

広島県南部	200ミリ
広島県北部	200ミリ

予想天気図 (8月14日21時予想)

雨量の見通し

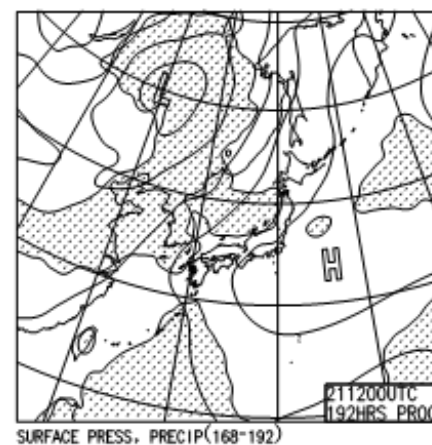
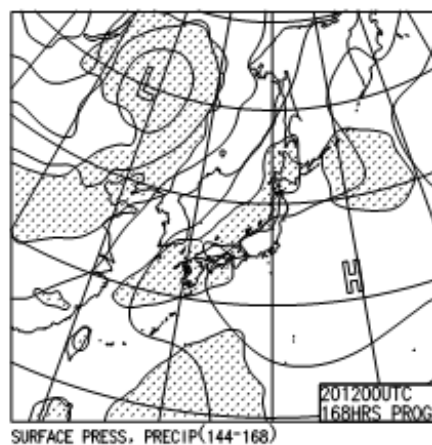
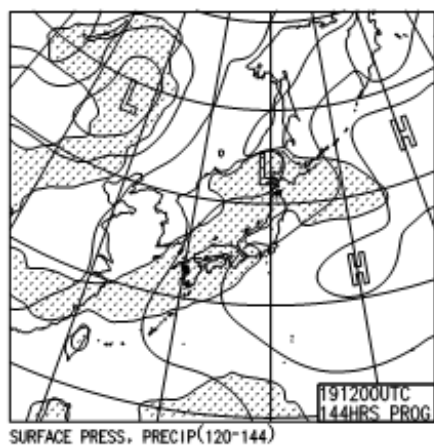
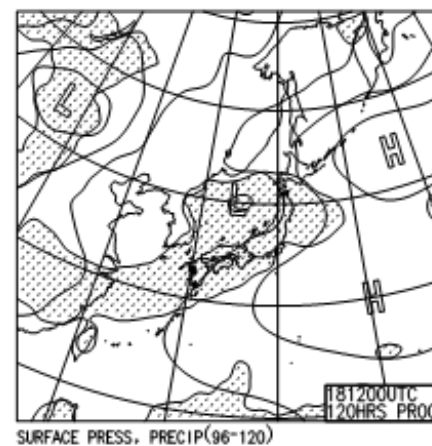
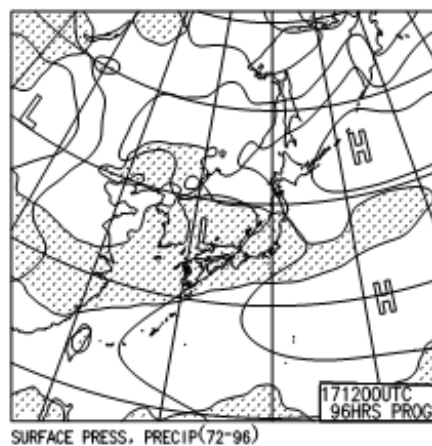
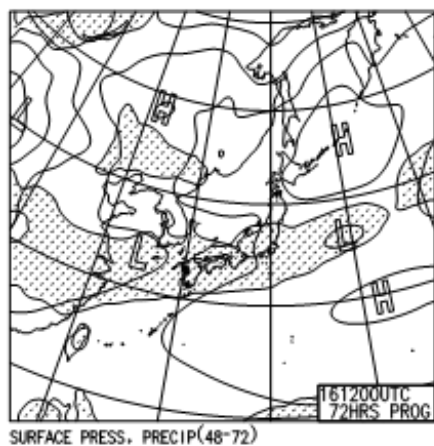
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(予想天気図：https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

(気象情報(雨の見通しなど)：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

今後1週間の見通し

8月14日
14時時点の資料










＜ポイント＞ 前線が向こう1週間程度は本州付近に停滞し、重大な災害の発生するおそれ。

ハッチ域は予想される24時間降水量が5ミリ以上の地域

今後1週間の見通し

8月14日
14時時点の資料

日付		今日 14日(土)	明日 15日(日)	明後日 16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)
広島県		雨 	曇一時雨 	曇時々雨 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇 
降水確率(%)		-/90/80/70	80/20/20/10	70	70	60	50	40
信頼度		-	-	B	B	B	C	B
広島 気温 (°C)	最高	27	30	27 (26~32)	27 (26~32)	27 (26~32)	29 (27~32)	30 (26~32)
	最低	-	23	24 (23~26)	24 (22~26)	24 (22~25)	23 (22~25)	24 (22~26)

広島県の早期注意情報（警報級の可能性）

2021年08月14日05時 広島地方気象台 発表

南部では、15日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性が高い。

北部では、15日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性が高い。

広島県南部		14日			15日		16日	17日	18日
		06-12	12-18	18-24	00-06	06-24			
大雨	警報級の可能性	[高]			[高]		[中]	[中]	[中]
	1時間最大	40	40	40	40	15以下			
	3時間最大	下記以外	80	80	80	60	25以下		
		広島・呉	90	90	90	60	25以下		
24時間最大				100から150					
暴風(雪)	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	最大風速	陸上	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下		
		海上	10	10	10	9以下	9以下		
波浪	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	波高	1	1	1	0.5	0.5			
広島県北部		14日			15日		16日	17日	18日
		06-12	12-18	18-24	00-06	06-24			
大雨	警報級の可能性	[高]			[高]		[中]	[中]	[中]
	1時間最大	40	40	40	40	15以下			
	3時間最大	60	60	60	60	25以下			
	24時間最大				100から150				
暴風(雪)	警報級の可能性	-			-		-	-	-
	最大風速	9以下	9以下	9以下	9以下	9以下			

関連資料の掲載場所

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>

- キキクル(危険度分布)（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）

土砂キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>

浸水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>

洪水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>

- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>

- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）

<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>

- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>

- 最新の気象データ（雨雲の動き（降水・雷・竜巻ナウキャスト）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>

- 14か国語による防災気象情報の提供

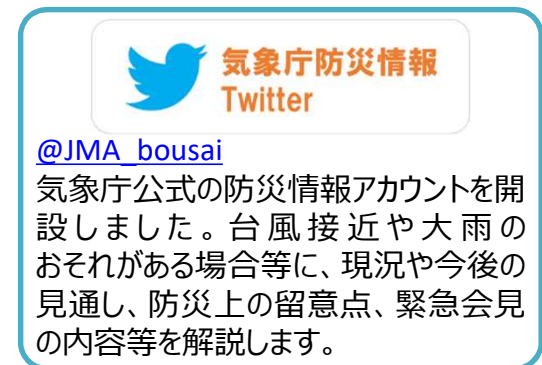
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf

- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）

<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>



位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

(参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報

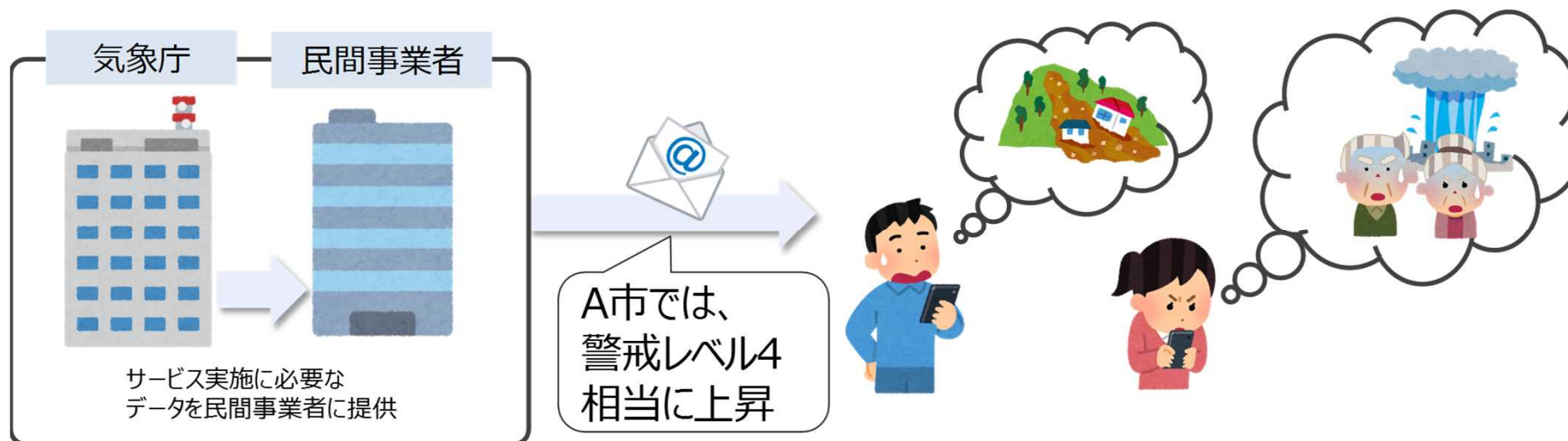
警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報				相当する警戒レベル	
5	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨 特別警報	非キキクル (危険度分布)	氾濫 発生情報	5 相当		
<警戒レベル4までに必ず避難！>								
4	・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害 警戒情報	高潮 警報	高潮 特別警報	極めて危険 ※2	氾濫 危険情報	4 相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	大雨警報 洪水警報 ※1	高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	警戒 (警報級)	非常 に危険	氾濫 警戒情報	3 相当
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報	高潮 注意報	注意 (注意報級)	注意 (注意報級)	氾濫 注意情報	2 相当
1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	大雨注意報 洪水注意報	早期 注意情報 (警報級の可能性)				

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。
 ※2 「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。

(参考)「キキクル(危険度分布)」の通知サービスについて

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- ▶ この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

合同記者会見資料

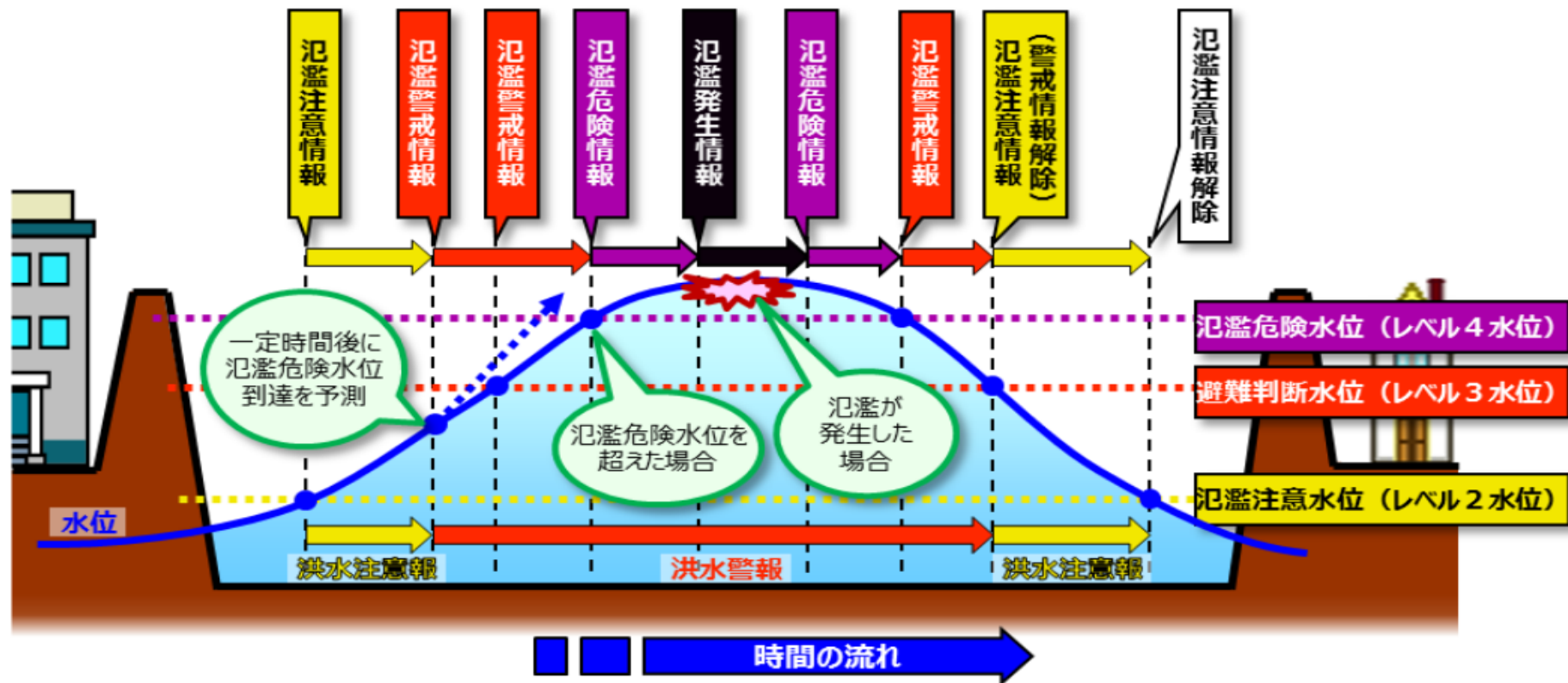
令和3年8月14日

国土交通省 中国地方整備局

「川の防災情報」の画面により
リアルタイムデータで説明します。

指定河川洪水予報 発表基準

洪水予報の標頭（種類）	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報 （洪水警報）	氾濫の発生 （氾濫水の予報※）	氾濫水への警戒を求める段階 【警戒レベル5相当】「緊急安全確保」の目安
〇〇川氾濫危険情報 （洪水警報）	氾濫危険水位（レベル4水位）に到達	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階 【警戒レベル4相当】「避難指示」の目安
〇〇川氾濫警戒情報 （洪水警報）	一定時間後に氾濫危険水位（レベル4水位）に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位（レベル3水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階 【警戒レベル3相当】「高齢者等避難」の目安
〇〇川氾濫注意情報 （洪水注意報）	氾濫注意水位（レベル2水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階 【警戒レベル2相当】



【河川の氾濫】

大雨による河川の氾濫の危険性があります。国が管理する大河川だけでなく、大河川に流入する支川や中小河川の氾濫にも注意が必要です。これまでの大雨で川の水位が高い状態が続いており、**今後わずかな雨でも水位が大きく上昇する恐れ**があります。

【低い土地の浸水】

大雨により水路や排水溝などから水があふれ、低い土地での浸水の危険性があります。

【土砂災害】

大雨による土砂災害（土石流、地すべり、崖崩れ）の危険性があります。これまでの大雨により地盤が水を含み緩んでおり、**今後わずかな雨でも土砂災害が発生する恐れ**があります。

- 市町村が作成しているハザードマップなどを確認し、浸水や土砂災害の可能性や避難する場所・経路などを把握するとともに、避難への備えを行ってください。
- 気象・河川の情報や市町村が発表する避難情報（避難指示など）に留意し、早めの行動を心がけてください。
- 河川氾濫の恐れがある場合などに、暗くなってからの移動は危険を伴う場合があるため、明るいうちに安全なところへ避難するなど、早めに身の安全を確保してください。
- 避難先は市町村が指定する避難場所・避難所に限らず、安全な場所にある親戚・知人宅などでも構いません。
- 増水時に川の様子を見に行くことは極めて危険です。川に近づかないようにして下さい。

- ハザードマップは、市町村のウェブページや「**ハザードマップ・ポータルサイト**」(国土交通省)などで確認することができます。
- ウェブページ「**川の防災情報**」(国土交通省)では、次の情報を確認することができます。
 - ・レーダ雨量(雨の状況)
 - ・川の水位情報
 - ・河川カメラの映像
 - ・浸水の危険性が高まっている河川
 - ・洪水予報等発表河川
 - ・ダム放流通知
 - ・水害リスクライン(国管理河川の洪水の危険度分布)
- 「**キキクル(危険度分布)**」(気象庁)では、土砂災害、浸水害、洪水害の危険度を確認することができます。

ハザードマップポータルサイト

～身のまわりの災害リスクを調べる～

使い方

利用規約

問い合わせ

関連情報

重ねるハザードマップ

～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院



表示する情報を選ぶ



洪水(想定最大規模)



土砂災害



高潮(想定最大規模)



津波(想定最大規模)



道路防災情報



地形分類

過去の代表的な災害事例をみる

わがまちハザードマップ

～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

まちを選ぶ

都道府県



市区町村



「中国」をクリック

中国の状況

その他の情報

浸水の危険性が高まっている河川

浸水の危険性が高まっている河川

レーダ雨量 (XRAIN)

レーダ雨量 (雨の状況)

気象啓報・注意報、土砂災害警戒情報

気象啓報・注意報、土砂災害警戒情報

河川カメラ

河川カメラ映像

川の水位情報

川の水位情報
・河川水位
・河川カメラ映像

洪水予報、水位到達情報

洪水予報の発表地域

ダム放流通知

ダムの放流通知

洪水キキクル (危険度分布)

洪水キキクル (気象庁)
・洪水の危険度

土砂キキクル (危険度分布)

土砂キキクル (気象庁)
・土砂災害の危険度

水害リスクライン

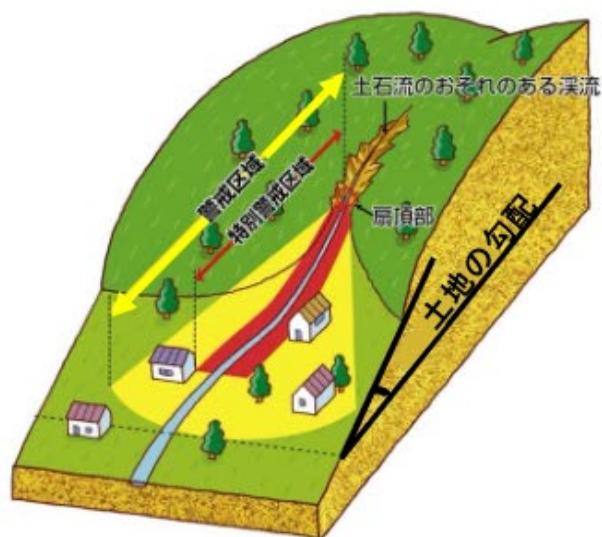
水害リスクライン (国管理河川の洪水の危険度分布)

○洪水予報や河川の水位等は「川の防災情報」で確認できる。サイトは「川の防災情報」で検索できる (<http://www.river.go.jp/>)。※スマートフォンは <http://www.river.go.jp/s/>。

参考情報

土石流

※山腹が崩壊して生じた土石等又は
渓流の土石等が水と一体となって流下
する自然現象

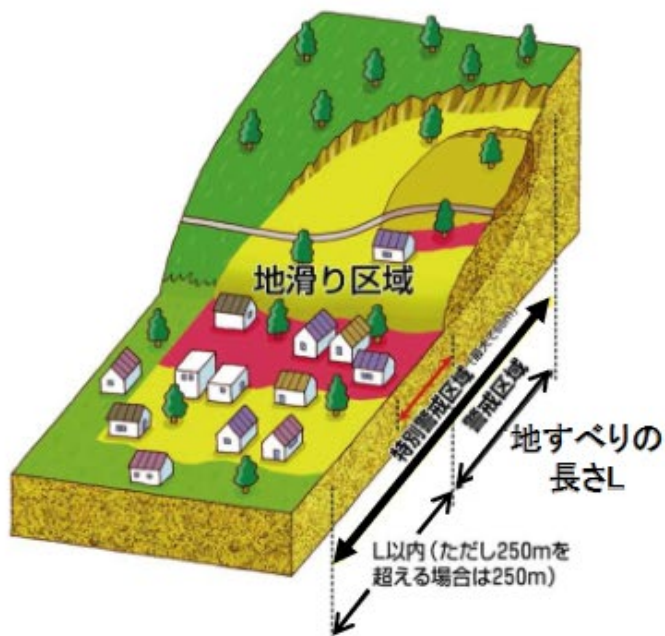


【前兆現象】

- ・地鳴り、山鳴りがする
- ・流水が異常に濁る
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・腐った土の臭いがする

地滑り

※土地の一部が地下水等に起因して滑る自
然現象又はこれに伴って移動する自然現象

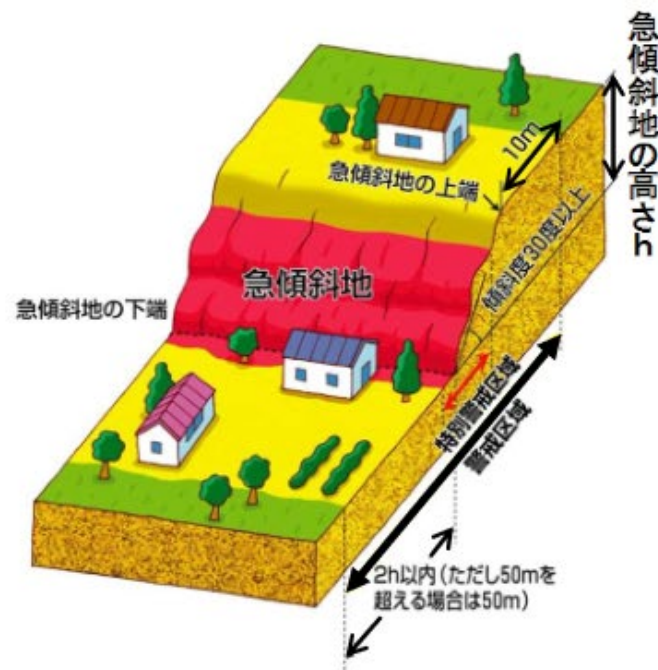


【前兆現象】

- ・地面にひび割れができる
- ・地面の一部が凹んだり盛り上がる
- ・沢や井戸の水が濁る
- ・樹木が傾く
- ・家や擁壁に亀裂が入る

急傾斜地の崩壊

※傾斜度が 30° 以上である土地が崩壊する自然現象



【前兆現象】

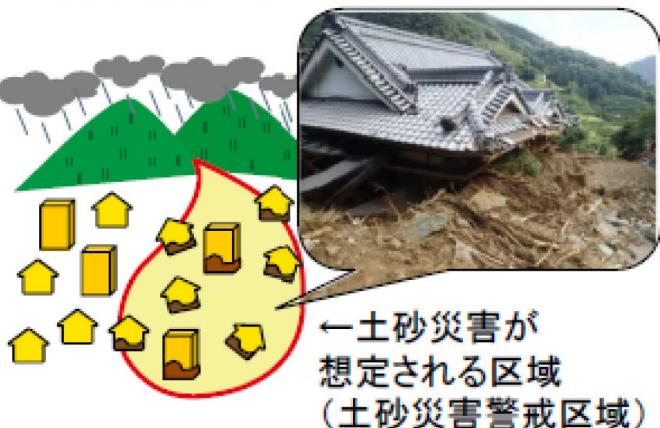
- ・がけに割れ目ができる
- ・がけから小石がパラパラ落ちる
- ・斜面がはらみ出す
- ・湧水が濁り出す
- ・樹木が傾く

土砂災害の特性を考慮した避難の考え方

- 土砂災害警戒区域の「内」から「外」へ避難しましょう
- 避難場所の安全性を確認しましょう

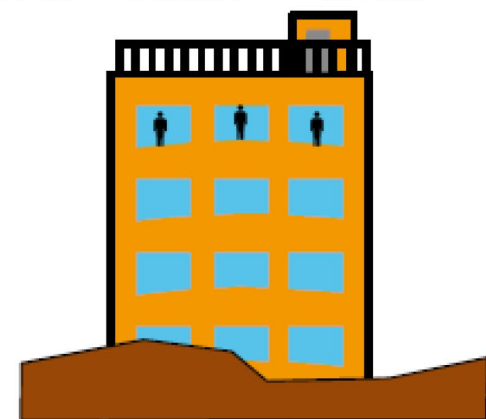
避難場所が土砂災害警戒区域の外にあるか、
事前に土砂災害ハザードマップ等を確認

※指定避難所以外に避難所が開設される場合があります。市町村からの情報に注意しましょう。



- 避難場所に避難できない場合の「次善の策」を知っておきましょう

近隣の堅牢な高い建物(鉄筋コンクリート造等)の高層階へ「移動」



自宅外への避難に余裕がない場合や、既に自宅の外が危険な状況の場合、斜面と反対側の2階以上の部屋に「退避」



**明るい時間での避難、
早めの避難行動 など**

「命を守るための最善の行動」

をお願いします。